

第6回トラック輸送における取引環境・労働時間改善石川地方協議会 概要

1. 日 時

平成30年3月5日（月）14：00～16：00

2. 場 所

ANAクラウンプラザホテル金沢 3階 鳳の間

3. 出席者

近 藤 修 司	北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科講師
西 田 哲 次	石川県商工会議所連合会 金沢商工会議所 企業経営アシストセンター長（代理）
酒 井 一 芳	一般社団法人石川県経営者協会業務課長（代理）
中 村 明	石川県中小企業団体中央会専務理事（欠席）
南 英 明	全国農業協同組合連合会石川県本部管理部長（欠席）
永 井 宏 行	カナカン株式会社物流システム部課長
松 任 宏 幸	津田駒工業株式会社取締役総務部長（欠席）
杉 浦 直 人	石川県交通運輸産業労働組合協議会議長
久 安 常 信	一般社団法人石川県トラック協会長
山 田 秀 一	北陸貨物運輸株式会社代表取締役
小 前 田 彰	小前田運輸株式会社取締役会長
中 野 廣 志	日本通運株式会社金沢支店支店長
篠 山 賢 一	厚生労働省石川労働局労働基準部長（代理）
林 伸 治	国土交通省北陸信越運輸局自動車交通部長（代理）

（オブザーバー）

高 橋 信 行	北陸農政局 経営・事業支援部 食品企業課課長補佐
---------	--------------------------

石川県パイロット事業

【実施集団①】

(発荷主)

中井和則 コマニー株式会社 管理統括本部経営管理部責任者

(運送事業者)

西出陽一 上田運輸株式会社 企画開発室長 物流部長

(コンサルタント)

本多亨 株式会社P E C協会 代表取締役主任研究員

【実施集団②】

(発荷主)

板谷英樹 カナカン株式会社 給食担当部長 外食金沢営業所長

(運送事業者)

北村和光 二本松物流株式会社 常務取締役 総務部長

藤本憲一 二本松物流株式会社 外食部門係長

(コンサルタント)

内田明美子 株式会社湯浅コンサルティング コンサルタント

芝田稔子 株式会社湯浅コンサルティング コンサルタント

4. 概要 議題

(1) 平成29年度パイロット事業（実証実験）最終報告（案）について

- (株) P E C協会 [資料1](#)に基づき説明
- (株) 湯浅コンサルティング [資料2](#)に基づき説明

(2) 平成30年度トラック輸送における取引環境・労働時間改善事業について

[資料3](#)に基づき説明

(3) その他

- 平成29年度補正予算及び平成30年度予算の概要について【北陸農政局】
[資料4](#)に基づき説明

- 「トラック輸送における取引環境・労働時間改善石川県地方協議会」の取組みにかかる広報について
参考資料により紹介

5. 主な意見

・パイロット事業は、トラック事業者の改善でありながらも、荷主の改善も必要となることから、想定以上の効果が認められる事業だと感じた。取引の中のトータルマネジメントがこれで改善されるのではないかと思う。【経営者団体】

・「ドライバーの残業時間を減らしたら給料が下がるのではないか」との視点について、生産性が上がったから給与が下がるのではなく、ドライバーにお金を戻すことも重要ではないかと思う。【経営者団体】

・パイロット事業の実施により、荷主、運送事業者双方の社員の意識が変わったとの変化は非常に良いことだと思った。一つ意識が変わると次の課題の発見、気づきが起こり、更に改善が進んでいくと思う。【荷主団体】

・経営者と荷主と労働者の三者が一体となって労働時間短縮等に取り組んでいかなければならないと感じた。労働時間を短縮するには作業分離しかないことが、当該パイロット事業の結果からも表面化された。【労働組合】

・出荷時期がはっきりしない荷主もあるが、受注の締切をいつにするかは重要なことだと思う。コストの問題も重要で、荷主に負担して貰えばよいが、通常はドライバー任せで作業しており、それが残業に繋がる。前工程の部分でいかにドライバーの負担を軽減させるかが一番重要なことだと思う。【運送事業者】